



か ん ご

れんめい大分

平成20年9月15日発行

第41号

大分県看護連盟メールアドレス
E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

発行所：大分県看護連盟 大分市寿町2-6 大分県看護研修センター内 TEL 097-537-1335
発行人：安東 和代 編集者：広報委員会 印刷所：(株)インタープリント TEL 097-568-8123



チャレンジ! おおいた国体
チャレンジ! おおいた大会

国体マスコット
めじろん

目次

会長ごあいさつ/来賓祝辞	2~3P
支部長ごあいさつ	4~5P
平成20年度の重点活動	6P
現場の声から	7P
たかがい先生来県	8P

平成20年度活動開始にあたって

大分県看護連盟会長 **安東 和代**



今年の夏は猛暑が続きましたが、やっと涼しくなって参りました。会員の皆様には、日頃から看護連盟へご協力・ご支援頂き感謝申し上げます。

7月6日に大分県看護連盟の通常総会を開催致しました。皆様のご協力により、すべての議題を承認して頂きました。ありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。

日本看護連盟は、平成20年度の活動計画として、「変化→強化 勝つ組織をつくりあげる」をあげています。勝つ組織にするためには、先ず会員増が必要です。そのために、今年度は看護協会に入会しているすべての施設を訪問させて頂きます。また、組織の強化のためには会員が看護連盟のことを理解し、納得して連盟活動が出来ることが重要だと思います。看護連盟をより理解して頂くために、今年度から2年間“基礎研修”を計画しております。

支部長さんを中心に、病棟単位、病院単位、支部単位、県単位といろいろな形でやっていく予定です。今年度中に約半数の会員の方が、この研修を受講して頂くことを願っております。

2年後の参議院選挙にむけて、組織を「変化→強化 勝つ組織」にすために、頑張っていきたいと思っております。

ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

看護連盟会員のみな様へ

大分県看護協会会長 **古賀 和枝**



今、高齢化の進展や、要介護が高い高齢者や慢性疾患者ができるだけ住みなれた地域や家庭において日常生活を送ることができるよう、在宅医療支援体制の充実が求められています。大分県では、医療機関が機能を分担し、充実への切れ目のない安心・安全で質の高い医療提供体制が「大分県医療計画」を策定する中で、もり込まれました。

また、平成20年9月に看護科学大学に訪問看護認定看護師教育課程が開講され、大分県の在宅医療を支える大きな力になってくるものと思います。

平成21年4月には、介護報酬改定があります。

- ① 訪問看護必要度調査及び療養継続の為に継続支援
- ② 医療保険、介護保険の整合性
- ③ 療養通所介護利用者枠の拡大

等が、日本看護協会から厚生労働省へ要望書が提出されました。

その他看護基礎教育4年制大学化等も出されています。

これらの提言が制度化にむすびつくように看護協会、連盟が連携して、国会に代表者を送らなければなりません。会員1人ひとりが力を合わせればかなえられるものと確信しています。

平成20年度大分県看護連盟通常総会開催

- 日 時:平成20年7月6日(日) 10:00~12:45
 - 会 場:労働福祉会館ソレイユ 7F「カトレア」
 - 特別講演:「看護連盟の組織強化とこれからの課題」
日本看護連盟 幹事長 石田昌宏先生
- 会員の皆様のご協力により、報告事項、提出議案は全て承認・可決されました。
- 総会参加数:2,207名
出席者(266名)委任状(1,941枚)
 - 会員数:3,057名(7月5日現在)
※会員表彰:43名が会員歴20年以上で受賞された。



来賓祝辞／メッセージ

参議院議員 南野 知恵子



平素よりご支援・ご指導を賜りまして感謝申し上げます。
政局厳しい状況の中、皆様方にも大変ご心配をおかけしていることと心を痛めております。高齢化に伴い逼迫を来している医療費をなんとか抑制していく対策を示すこともなく、後期高齢者医療制度も参議院において野党の廃案が決定し全くの振り出しに戻ってしまいました。国民一人一人が安心、安全に暮らせることが第一であることを常に念頭において与党一丸となり政策に取り組んでおりますが、大事な事はひとりでも多くの人が納得できる政策であることです。今後も引き続き不備な点は洗い出し検討していく必要があります。
今年4月からスタートした「特定健康診査・特定保健指導」は生活習慣病を予防し健康な身体をつくることにより、少しでも医療費が節減できることにも繋がり、看護職が果たすべき役割は大変大きいものがあります。予防医学に重点を置いた地域保健活動を充実させていく為にも訪問看護推進事業を進展させ在宅看護の設備を実施していくことが政策上急務であろうと考えております。
今後も看護と政治の一体化した活動を皆様と共に頑張っって参りたいと存じます。最後にご出席の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

衆議院議員 あべ 俊子



皆様におかれましては、日頃より医療・看護の質の向上にご尽力賜り、心より敬意を表します。
近年、介護療養施設の廃止、後期高齢者医療制度の創設など、わが国の医療・介護を巡る諸制度は大きな転換期を迎えています。昨年は看護職員配置基準が12年ぶりに見直され、私たち看護職員の労働条件の改善や医療安全対策に大きな貢献を果たした一方で、現場で様々な問題が生じております。また、看護職員の資質の向上や働き続けられる職場作りのために、看護基礎教育の改革や卒後臨床研修の制度化などが不可欠ですが、これらについては、依然として大きな進歩が見られず、看護を取り巻く課題は山積しております。
こうした諸課題の一日も早い実現に向け、今後とも現場の皆様のお声をお聞かせいただきながら、私も国政の場からしっかり発言して参りたいと考えております。最後になりましたが、貴看護連盟の益々のご発展と、ご臨席の皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

日本看護連盟会長 見藤 隆子



平成20年度大分県看護連盟総会が盛大に開催されるにあたり、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。
会員の皆様には、ご多忙にもかかわらず平素から看護連盟活動にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。
日本看護連盟は、昭和34年発足して以来私たちの代表を国政の場へ送り続け、看護政策の実現に大きく貢献してまいりました。現在、代表議員が国会で活躍していることは皆様ご承知のとおりでございます。昨年に清水嘉与子先生が勇退され、現在は参議院議員南野知恵子先生、衆議院議員あべ俊子先生の二人が看護等のいろいろな問題解決に活躍していただいております。
昨年の参議院議員の選挙では、残念なことに看護の代表を国政の場へ送り出すことが出来ませんでした。今後は看護連盟のあり方を含め、より良い方向へ進めるために活動してゆく必要があると考えています。
通常総会にあたり会員皆様の一層のご活躍とご健勝を心より祈念し、大分県看護連盟のご発展をお祈りいたします。

玖珠・日田地区支部

あいさつ

支部長 古賀ゆかり

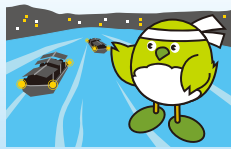


大分県の西部に位置する玖珠・日田地区は、看護協会の約半数が看護連盟の会員で、連盟に加入しているのは9施設と、決して多いとは言えません。『看護協会』『看護連盟』の役割や活動に関する広報不足を実感しています。

現在私たち看護職が働く医療現場はめまぐるしく変化し、様々な状況に対応していくことが求められています。このような状況の中で看護職として1日でも長く、1人でも多くの仲間が、看護の仕事が続けていくことが出来るような環境作りが、さらに求められるようになってきます。看護協会の目的を達成するための組織が看護連盟です。

1人でも多くの看護職の方々に、看護連盟について正しく理解し行動に繋がっていただけるよう、努力してまいります。

ご理解とご協力をお願いいたします。



豊後高田・宇佐・中津地区支部

支部の抱負

支部長 高橋 京子



平成20年度通常総会を終えて直ぐ支部役員会で年間活動方針を確認しました。

先づ、支部組織の強化として会員増に向け努力すること。県連盟の支援を受けて未入会施設訪問を計画します。

次に基礎研修の実施です。連盟会員が連盟の活動内容を、きちんと周囲の人達に伝えられるように基礎知識を身につける学習ですが、これにより会員一人ひとりが動く、組織づくりに繋がっていただければと各施設でのミニ研修を奨励します。

そして今、先日の研修会講師として来県された

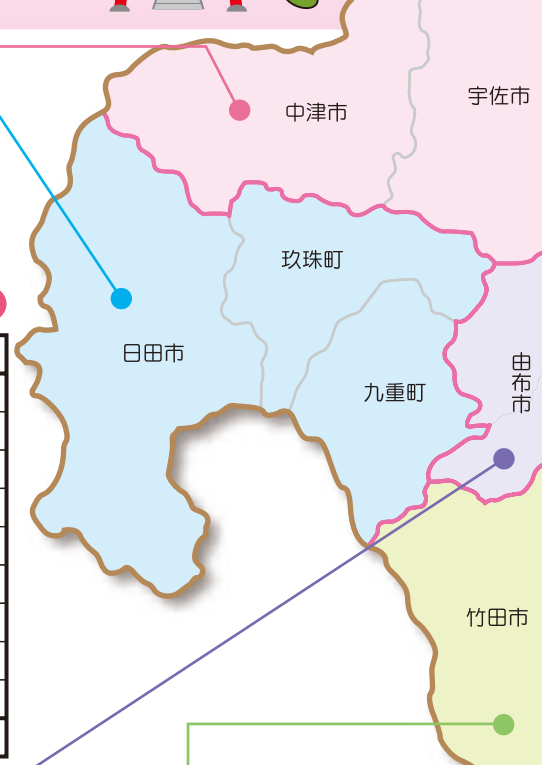
「たかがい恵美子」氏について、次期参院選の候補予定者であることを看護職の皆さんに識っていただきたい思い沸々です。



20年度 ～いま、地区支部は～ 変化→強化

20年度 支部組織

地区支部名	支部長名	幹事長名	所轄範囲	会員数
国東・杵築・日出地区	河野 かよ子	河野 志妹子	杵築市・国東市・日出町	255
別府地区	河野 栄子	芝尾 與志美	別府市	159
大分北部地区	式田 公枝	奈良 幸子	大分市北部	548
大分南部地区	宮崎 豊子	江藤 真弓	大分市南部	485
竹田・豊後大野地区	加峰 マチ子	玉田 藤代	竹田市・豊後大野市	199
豊後高田・宇佐・中津	高橋 京子	円福 重美	豊後高田市・宇佐市・中津市	197
玖珠・日田地区	古賀 ゆかり	高村 美由貴	日田市・玖珠郡・玖珠町	169
臼津・佐伯地区	高野 洋美	工藤 令子	臼杵市・津久見市・佐伯市	589
由布地区	加藤 ふみ子	後藤 美恵	由布市	564
合計				3,165



由布地区支部

あいさつ

支部長 加藤 ふみ子



このたび、由布地区の支部長という大役を務めさせていただくことになりました。

由布地区は狭間町・庄内町・湯布院町で構成され看護連盟会員は558名です。まずは、会員一人ひとりが「看護連盟」の役割を正しく理解することから活動を行いたいと思います。

会員は「看護協会の推薦する代表を国政に送る政治活動、選挙活動を行うスーパー看護協会である」ことを伝え、由布地区の組織強化を会員・役員の方々と共に図りたいと思います。

わからないことがたくさんありますが皆様方の協力を得ながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



竹田・豊後大野地区支部

あいさつ

支部長 加峰 マチ子

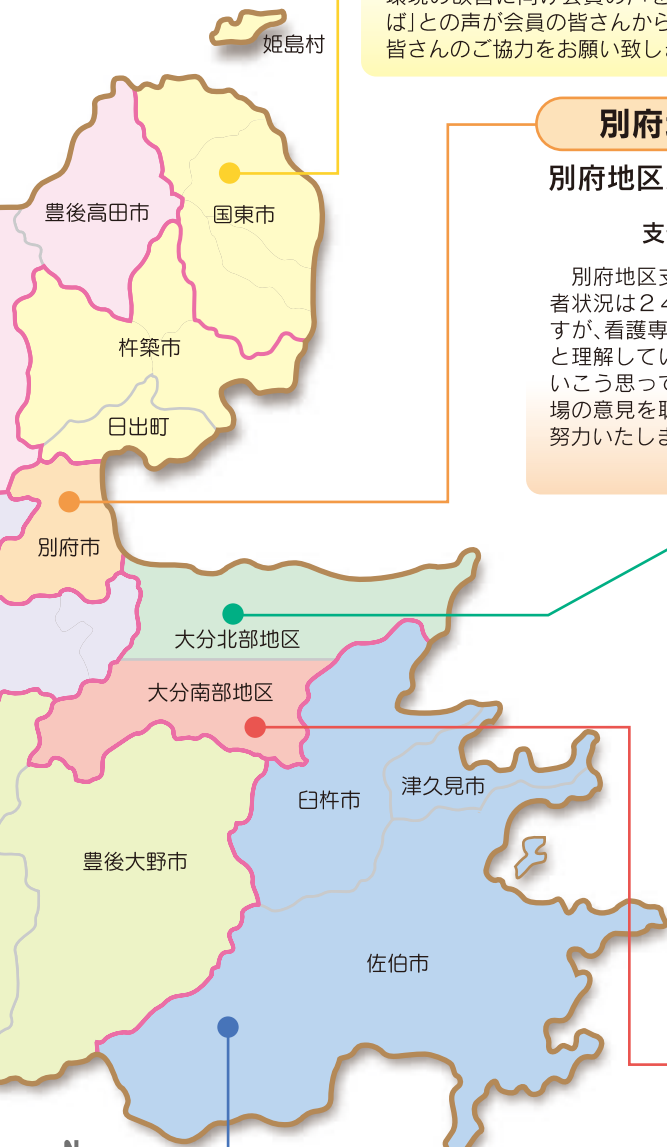


平成20年度の大分県看護連盟通常総会で引き続き支部長に承認されました。微力ですが精一杯努める所存です。地区組織になって3年が経過しましたが、看護職員への浸透が浅く、本年度こそは各施設の訪問を重ね会員一人ひとりへ「連盟活動は看護協会の目的を達成する為の活動であり表裏一体である」ことを理解して頂き、より浸透できるように草の根運動の実践に努めます。

また、協会会員数390名中連盟会員186名と少なく、195名の達成を目標に施設訪問活動を強力に展開します。

基礎研修は連盟を理解し会員として行動できるよう、施設連絡員と連携を密にして実施していきたいと思っております。本年度は地区の連盟組織が、身近な活動として目に見えるように理解を深めて参りますので、みなさまのご支援、ご協力の程お願ひ申し上げます。





国東・杵築・日出地区支部

あいさつ

支部長 河野 かよ子



国東・杵築・日出地区の支部長をお引き受けし、責任の重みを感じています。支部の役員の方々と共に看護連盟の活動「看護連盟は看護協会の目的を達成させるための組織であること、その手段として政治活動を担い政治の場に我々の代表を送る事」を、看護職の皆さんにきちんと伝え、1人でも多くの方が看護連盟の必要性を理解し納得して自ら会員となり自ら活動できる会員が増えるように努めていきたいと思ひます。そして、「看護の質向上、労働条件、労働環境の改善に向け会員の声を代弁して活躍してくれる人を是非国会に送らねば」との声が会員の皆さんからあがることを期待しています。皆さんのご協力をお願い致します。



別府地区支部

別府地区支部長として一言

支部長 河野 栄子



別府地区支部長を務めさせて頂くことになりました。別府地区の平成20年度看護連盟入会者状況は24施設、159名です。施設により入会に関していろいろと理由はおありかと思ひますが、看護専門職として看護連盟活動を一人ひとりもつと理解していただくとともに、一人でも新会員を増やしていこう思っています。会員を増やすには現場に足を運び現場の意見を聴き、少しでも現場の声が本部の方へ届くよう努力いたしますので、皆様方のご協力をお願い致します。



大分北部地区支部

北部地区支部の活動のこれから

支部長 式田 公枝



今後は次回の選挙に向けて「きめ細かに」をモットーに活動していきます。会員の全員に、今後約1年間を通して、研修会や施設訪問を継続的に実施し、「基礎研修」を行います。「基礎研修」では皆様と細やかにお会いして、看護連盟について理解を深め、看護職が現場を変えるために、自分で考えて自分で行動できるようになる事が目標です。次回の参議院選で、看護職の代表を当選させるか否かは、皆様の行動力にかかっています。看護連盟会員が中心になり、看護職全員の力を結集して、絶対に当選させましょう。私たち幹事一同は「きめ細やかに」活動します。皆さんも一緒に頑張りましょう。



大分南部地区支部

夢の途中

支部長 宮崎 豊子



今年の三月まで、大分県立病院で助産師として働いていました。このたび大分県看護連盟の新支部である大分南部地区の支部長に任命されました。総会や支部役員徹底研修に参加して、やりがいと役割の重みを感じています。まずは「語りべ」となり、足を動かすこと…井の中の蛙が動いた施設訪問では、お忙しい中の笑顔に安堵、活動方向が幾分みえてきました。夢をもってナースの仕事を選んだ人が途中下車せずに、誇りを持ち一生楽しく働ける職場になれるよう「強い組織づくり」に全身全霊をささげます。先輩たちのおかげで、私なりに豊かなナース人生を過ごせた恩返しです。



臼津・佐伯地区支部

あいさつ

支部長 高野 洋美



今年は基礎研修を充実目標と致します。より働きやすい職場環境が整えられるためには自分達自身のメッセージの発信が大切ではないでしょうか。「ベッドサイドから政治を変える」で現場の声を聞かせてください。看護協会の目的達成のために看護職一人ひとりが政治に連盟に関心を持ち行動しましょう。



平成20年度日本看護連盟通常総会報告

西田厚徳病院

木村 栄子

平成20年6月6日(金)東京プリンスホテルに於いて、全国代議員888名、役員12名、一般会員736名、議長2名、総計638名(大分県看護連盟23名)出席のもと平成20年度通常総会が開催された。開会宣言のあと、元環境庁長官石本茂氏をはじめ物故会員への黙祷が行われた。見藤隆子連盟会長、久常節子協会会長の挨拶に続き、来賓より伊吹文明自民党幹事長、南野知恵子参議員、阿部俊子衆議員の挨拶をいただいた。

報告事項、提出議案は規約改正(案)以外、すべて絶対多数で承認・可決された。

規約改正(案)について学生会員の資格等活発な質疑・意見がだされ、内容などについて文言の整理を行い、全国会長に修正案を提出する条件で承認された。

総会終了後、南野知恵子参議院議員 阿部俊子衆議院議員の国政報告、地方議員を代表して山口県議会議員の藤井律子氏の看護職としての経験を生かし活動していることの報告があった。

また、昨年の参議院選挙で効果的に活動し獲得票数を伸ばした福島県と熊本県の支部報告、第1回政治アカデミー卒業生2名の報告のあと基礎研修推進研修会があった。



平成20年度日本看護連盟通常総会・基礎研修推進研修会に出席して

大分赤十字病院

佐藤 嘉代子

今回参加の機会を得てとても刺激になりました。総会では沢山の会員が熱い思いを述べていて、看護連盟のパワーを肌で感じました。それと同時にまだまだ私たちは、連盟の政治力がどれだけの今日までの労働条件を改善してきたか、国民の健康を守ってきたかを若い看護師たちに伝え足りていないことを反省しました。事ある毎にこれらを若い世代に伝え「選挙で投票しない限り思いは叶わない」と、話して行きたい。

平成20年度の重点活動

◎ 基礎研修受講

第21回参議院選挙の反省を踏まえ20年度「勝つ組織づくり」に必要な重点活動の一つとして、連盟を正しく理解するため、20年度は50%の会員、21年度までに全会員が基礎研修を受講することが目標です。

6月6日の日本看護連盟総会終了後、パワーポイントを使用した基礎研修を代議員と一般参加した会員が受講してまいりました。

受講終了者に「基礎研修受講修了証」が日本看護連盟より渡されます。

早速、県通常総会において、石田幹事長による基礎研修が行われました。また、各支部でもすでに進められています。

◎ 施設訪問

全施設訪問は、看護連盟組織の強化・拡大のための第一歩です。

継続して看護職の代表を国会に送るためには、看護連盟会員の増加は不可欠です。

今年、看護連盟は新規会員の獲得に向け、すでに会員が所属している施設はもちろん、非所属施設にも県連盟役員・支部役員が直接お伺いする予定です。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



現場の声から

～ ベッドサイドから政治を変える ～

平成20年7月6日

平成20年度大分県看護連盟通常総会にて／アンケート回答者:92名

Q1 あなたが、日頃現場等で最も問題だと感じていることを、下から3つまで選んで番号に○をして下さい。尚、17を選んだ方は()内もお選び下さい。

- | | | | |
|------------------------------|-----|--------------------------------------|-----|
| 1.給与や各種手当の支給額の低さやサービス残業時間が多い | 34名 | 11.看護基礎教育期間や内容が不十分 | 12名 |
| 2.看護要員の不足 | 45名 | 12.卒後研修の不足や内容が不十分 | 5名 |
| 3.過重労働・超過勤務・サービス残業 | 31名 | 13.新人看護職の離職 | 7名 |
| 4.医師の不足 | 15名 | 14.新人看護職の指導 | 14名 |
| 5.ワーク・ライフ・バランスの不均衡 | 7名 | 15.仕事に充実感・達成感がもてない | 8名 |
| 6.子育て支援対策の不足 | 8名 | 16.診療報酬・介護報酬の不適切性 | 10名 |
| 7.家族介護支援対策の不足 | 2名 | 17.人間関係のストレス | 24名 |
| 8.医療事故への不安 | 11名 | (医師:13名 患者及び家族:5名 上司:7名 部下:2名 同僚:2名) | |
| 9.患者から苦情や暴言・暴力 | 12名 | 18.看護職としての職能意識の低さ | 6名 |
| 10.過剰医療 | 3名 | 19.その他 | 2名 |

Q2 ご意見をご自由にお書きください。

- 毎日が忙しすぎる。雑用が多すぎる。(医師のフォロー…等も含め)
- 年々新人の看護職(専門職)としての意識が低くなっていると感じる。
- 毎回の“アンフィニ”で最新の情報を得る事が出来て大変勉強になっている。政治との関係の重要さを改めて感じると同時に、私達の仕事を認め、地位の向上を図る為にももっと会員を増やし、社会的にも私達Nsを認めてもらいたい。
- 連盟を知る為に基礎研修に参加して、しっかりと知識を身に付け理解したうえで、活動に参加したいと思う。
- 療養病床でのコストが取れる項目が少ない。実情は急性期病院にも入れず、在宅療養は無理(介護力なし)のため、胃漏患者、気切患者が年々増え続け、物品や手技に対するコストが取れない(サービス)現状です。
- 石田先生のおっしゃる通り、私達看護職一人ひとりが、組織の意味、行政のこと等知らない事が問題であると思う。自分自身も看護の改善に係わる一人であることの自覚を持つことが必要と感じました。
- 看護連盟の活動について広報が重要と思う。“基礎研修”を制度として取り組むことに共感します。頑張っって会員増に努力したいと思いました。
- 理想とする「自律」は良く理解できる。現実には「受身」である。患者様・家族・社会等よりたたかれない様に、〇〇している…という感じ。Nsの専門職としての意識の低さから来るものだと思う。過去の古い教育や現場より、今は教育の内容も変化してきており、その二者が同時に働く現場では意識の統一が難しく、今後の課題です。
- 当病院では小学生対象の児童クラブが実施されており、時間帯も学校併設の児童クラブに比べて19時まで(学校は17時)大変助かっている。育児と仕事を両立する為に子育て支援対策のより一層の充実が必要(行政勤務)
- 保育室の設置、新人教育の充実とかなり整ってきたが、まだ人員不足です。院内の療養病棟勤務では、30床(満床)ほとんどが寝たきり患者です。2交代勤務で、補助者とNsの2人夜勤(仮眠とれない)で休憩も出来ない状態です。一般病棟はNsの複数夜勤と(仮眠がとれる)、療養病棟の看護基準による条件の違いが明らかです。何とかならないかと思う。
- 地方の医療法人の病院ですが、Ns不足は2年ほど続いています。
- 有床診療所に入院する方々も重症高齢化しており、看護の手を多く必要としているが、1人夜勤、少ない配置基準に甘んじなければならない状況です。診療所でも安心・安全な看護が提供出来るようにしていきたい。地域の高齢者を守る為、今こそ診療所看護の充実が必要と日々思う毎日です。
- 年々看護以外の仕事、事務、研究の負担、人間関係等のストレスが多く精神的に負担が強くなっている。医師不足の原因(給与ほか…)だけが取り上げられているが、看護師側の改善がみられない。
ストレスの為医療関係の人がうつ病になるのが増加しているとの情報をきく。各病院にメンタルできる(職員が)場ができると良いと思う。
- 山間部の地域包括センターに勤務しています。高齢化は進んでいるが、介護関係の受け皿は不足し、専門職(看護支援専門員等)も不足している。元気な地域を作らねばと頑張っているが、僻地ほど全てが不足しています。全国一律の政策では対応出来ないと思います。地方に優しい政策をもっとお願いします。
- いつまでも看護師に対する処遇が低い?看護師ばかりが頑張っている?コ・メディカルからの評価?責任がとれ、「ノー」と言える看護連盟であってほしい。
- 「新看護連盟の歌」をつくっては?今の時代と世代に合った曲想と内容で、愛唱歌という形でもいいと思います。
- 在院日数の短縮と高齢者や様々な既往症を持つ患者の増加と共に、急性期で手厚い看護ケアが必要な方が多くなり、7:1の看護体制でも厳しい日々を送っています。当病棟では眼科をはじめ消化器・呼吸器・心臓血管・泌尿器外科の5科のほか、病院の方針で空床があれば様々な科が入院し、毎月入退院患者数100~110名です。定床55、準深夜各3名、日勤者は師長、主任を含め10~12名、看護助手2~3名全くゆとりがありません。このような状況で頑張っています。
- その他
 - 院内で、病棟と病棟で、また病棟の中での不公平感、勤務体制について、休暇の取り方について、職場環境について等様々なご意見がありました。
 - 施設内の人間関係(院長、事務長、医師、看護部、患者)・環境問題・労働問題についてなどなど

皆様から寄せられた現場の声は連盟本部を通じて看護職の国会議員にも届けられ、国政に反映していただけるように活動されています。できるだけ多くの声を現場から発信していきましょう。

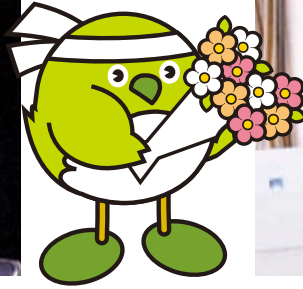
“大分県看護協会・看護連盟合同研修会にたかがい先生来県”

残暑の大変厳しい8月10日に、大分県看護協会・看護連盟の合同研修会を開催しました。

平成20年8月10日(日) 10:00～15:00 大分県看護研修センターにて

特別講演 「看護は成熟社会のパートナー」
講 師 日本看護協会 常任理事 高階 恵美子 氏

特別講演 「この時代の医療制度と看護の役割」
講 師 前日本看護協会 副会長 古橋 美智子 氏



高階恵美子先生の特別講演に参加して

後藤 美恵

平成20年8月10日残暑厳しい中、高階先生にお越しいただき看護協会・看護連盟合同の研修会が開催された。先生は白いスーツでさっそうと登場され、その容姿・話し方・表情はだれが見ても元宝塚ジェンヌ？と思うほど目も耳も引き込まれていく方であった。

看護とは「自分が守られている安心感を持って生活するための援助」であって、援助を行なうためには社会保障の仕組みや制度を変える必要がある。制度を変えるという事は、政治を変えることであって、それは私たち(看護職)がしていかなければならないと語った。先生は厚労省で多くの業績を残しているが、それは常に私たちはあなたの身近にいます、という切なる思いが実行に移した賜物である。そんな高階先生に大きなエールを送りたい。

高階恵美子先生の講演を聴き、私たちの期待を裏切らない人だと強く感じました。これまでいろいろな経験を積んでおられ、とても力強い味方が現れたと思いました。この方であれば、私たちの代表として現場の声を十分に生かしていただけると確信しました。

そのためにも、力いっぱい応援するぞー！そんな気持ちです。

137名の会員が、白のスーツにブルーのインナー姿で颯爽と現れた高階先生の講演に耳を傾けました。

平成20年度会員を募集しています

あなたの力！思いをことばに代えて！

※明るく、楽しい、連盟活動に参加しませんか

ベッドサイドからの声を国会へ。
あなたの入会をお待ちしています。

平成20年度
会員目標

3,200名

会費	本部会費 5,000円
	県会費 2,500円
	計 7,500円
	賛助会員会費 1,000円



いつもありがとうございます。

羽毛布団の東洋羽毛です。



クリーニング・リフォーム・下取などのアフターサービスを行っております。お問合せはお気軽に下記フリーダイヤルまで！

お問合せはお気軽に！
TUK 東洋羽毛

【熊本店】熊本市尾上1丁目7番3号

フリーコール **0120-382808**

ファミリーレストラン ジョイフル



大分県49店舗(全国約700店舗)で、
お客様のご来店を
お待ちしております。

ご家族連れで、ご友人と
そして恋人どうして、
お気軽にお越しください。

